

第39回国鉄労働組合東海本部定期大会開催

国労東海本部は8月9日、静岡労政会館で第39回定期大会を開催しました。



挨拶に立つ植田委員長

- ☆導入されているCAISの不具合が多すぎる
- ☆WOMS (旧指令FAX) の改善を
- ☆貨物の再雇用者の働き方にもっと選択肢を
- ☆分会でレクを中心に集まる場を作っている

○最近大きな事故が連続して発生するなど安全・安定輸送が脅かされて来ている。国労東海本部も各地方と連携して調査活動を強化し、交渉中心に事故の原因究明・再発防止を求めていかなければならない。

○東海においては315系4両編成によるワンマン運転実施、静岡地区におけるお客様サポートシステムの導入拡大が発表されており、我々は安全面・お客様の利便性を最優先に考え問題点を洗い出し、説明・改善に力を入れていく必要がある。

がん保険にできることを、もっと。

NEW

「生きる」を創るがん保険 WINGS

1 幅広い保障に経済的負担をサポート

2 がん治療に必要となる医療費の負担をサポート

アベニール株式会社

Affrac

アフラック

国労東海本部HP QR



国労東海本部HP QR

国労東海かべ新聞

国鉄労働組合東海本部 編集責任者：教宣部長